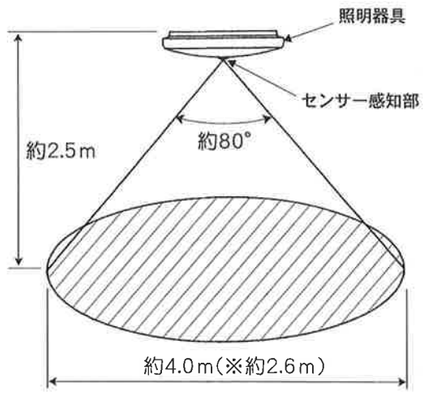
センサー感知範囲について

センサーの感知範囲は下図のとおりです。



※付属のエリアマスクをセンサー部に取付けることにより、感知範囲は約2.6mに変わります。

故障ではありません

注) 本センサーは温度変化を感知するため、人体以外の熱源を感知し、動作する場合があります。

注) 感知範囲は目安です。下記の様な場合、感知範囲が変化します。
- 感知範囲は気温、服装、人の移動速度、進入方向、体温、器具の取付高さ、取付面の傾きなどにより変化します。
- 室温が体温に近付いたときは感知しにくい場合があります。

注) 下記のような場合、感知することがあります。
- ガス機器、食器洗浄器、食器乾燥器などによる急激な温度変化が感知範囲にある場合。

強制点灯

■強制点灯させる場合

器具を消灯させた状態から壁スイッチを３秒以内にON➡OFF➡ONにすることにより、周囲の明るさ・人体感知の有無にかかわらず、強制的に約100%で点灯させることができます。(※)

※壁スイッチがない場合は、強制点灯に切り替えることができません。

- もとの動作モードにもどしたい場合は、壁スイッチをOFFにし、５秒以上たってからONにしてください。
- 強制点灯を延長したい場合は、壁スイッチをOFFにし、３秒以内にONにしてください。
  その時点から約８時間の強制点灯になります。

定　格

電球形蛍光ランプ専用器具です。白熱電球は使用しないでください。

形　　式	使用電圧	周 波 数	消費電力	使用蛍光ランプ
弊社形式：XME***	AC100V	50Hz／60Hz	13W (センサー待機時は１W未満)	電球形蛍光ランプ：EFA15まで

お手入れのしかた

■明るく安全に使用していただくため、定期的（６ヶ月に１回程度）に清掃、点検してください。
■ベンジン、シンナーなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質の原因になります。
■器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にさけてください。
■本体の汚れを取るときは、柔らかい布に石けん水（中性洗剤）を含ませて汚れをふき取ってください。その後、水ぶきして石けん分を取り除いてください。
■照明器具には、寿命があります。一般的な使用状態で、照明器具の交換時期は８年～10年です。

故障のときの処置

ご使用中に異常が生じたときは下表を参考にお調べください。下表以外の故障と思われるときは、電源を切り、お近くのNEC製品取扱店へご相談ください。
なお連絡されるときは器具の形式名およびお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。
形式名は器具本体の器具ラベルに表示されております。

故障の状態	主　な　原　因	処　　置
センサーの感知エリアに人がいるのに点灯しない	○センサー部に蒸気などの水滴がついている。 ○センサー部が汚れている。	柔らかい布で傷つかないようにセンサー部の汚れ等をふきとる。
	○壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにする。
	○暑い日など周囲の温度と人の体温の差が小さい。	本センサーは、人の動き等による温度変化を感知し、器具を点灯させますので左記の場合、感知しにくいことがあります。 (故障ではありません。)
	○ランプがソケットに正常に取り付いていない。	ランプを確実に取り付ける。
	○ランプの寿命。	ランプを交換する。
	○周囲が明るい。	照度切替ツマミを"明るめ"にする。

故障の状態	主　な　原　因	処　　置
感知エリアに人がいないのに点灯する	○感知エリアに人以外の熱源（動物、ガス機器、エアコンなど）がある。	感知エリア内に熱源が入らないような位置に器具を取付ける。
	○強制点灯状態になっている。	壁スイッチをOFFにし、しばらく（５秒以上）してからONにする。
感知エリアに人がいないのに消灯しない	○感知エリアに人以外の熱源（動物、ガス機器、エアコンなど）がある。	感知エリア内に熱源が入らないような位置に器具を取付ける。
	○強制点灯状態になっている。	壁スイッチをOFFにし、しばらく（５秒以上）してからONにする。
周囲の明るさに関わらず自動点灯する	○点灯照度ツマミが「切」になっている	点灯照度ツマミを暗め約５Lx～明るめ約50Lxの間で設定してください。

NEC 照明器具
センサライト 取扱説明書

保存用 **保証書添付**

- このたびはNEC照明器具をお買い上げくださいましてありがとうございます。
- 施工の前には必ずこの取扱説明書を最後までお読みになり、正しく施工してください。
- 取付工事が終わりましたら、この説明書は、ご使用になるお客様が保管してください。

【注意図記号とシグナル用語の意味について】

⚠警告：誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるものです。
⚠注意：誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくものです。

⚠：この記号は、注意(警告)をうながす内容があることを知らせるものです。
⃠：この記号は、禁止の行為であることを知らせるものです。
❗：この記号は、行為をお守りいただく内容を知らせるものです。

施工者への安全上の注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」と「取付方法」を、よくお読みの上、正しく施工してください。
●お読みになったあとは、この「取扱説明書」を必ず使用者にお渡しください。

⚠警告

❗ 器具の取付は、取扱説明書により確実に取付けてください。取付けに不備があると、器具の落下・感電・火災の原因になります。

⚠注意

⃠ 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。
感電・火災の原因となることがあります。

使用者への安全上の注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」を、よくお読みの上、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、(いつでも見られる所に) 必ず保管してください。

⚠警告

⃠ 器具取り付けの電源工事は、電気工事士の資格が必要です。
電源工事が必要な場合は、必ず工事店、電気店（有資格者）に依頼してください。一般の方の電源工事は、法律で禁止されています。

⃠ 部品の追加改造は絶対にしないでください。
火災・感電の原因となります。

❗ ランプ交換の際には、本体表示及び取扱説明書にしたがって、指定された(適合する)ランプを使用してください。指定以外の（適合しない）ランプを使用すると、火災の原因となります。

⚠警告	火災の恐れあり 指定以外のランプ使用禁止	E26 100/110V 電球形蛍光ランプ専用 電球形蛍光ランプ EFA15まで	○ ✕ ✕

⃠ 器具の隙間や放熱穴に、金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。

⃠ お手入れの際は、水洗いはしないでください。
火災・感電の原因となります。

⚠ 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。
火災の原因となります。

❗ ランプ交換等によりカバーをはずし、再度取付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取付けてください。不完全に取付けると、落下してけが・物損の原因となることがあります。

❗ ランプ交換やお手入れの際には、必ず電源を切ってください。
電源を切らないと、感電の原因となることがあります。

❗ 万一、煙が出たり、変な臭いがするなど異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切ってください。
異常状態がおさまったことを確認して電気店に修理を依頼してください。

⚠注意

⚠ ランプ交換やお手入れの際は電源を切って、しばらくしてから行ってください。消灯直後にランプ及びランプ周辺を触ると、やけどの原因となることがあります。

⚠ 振動や衝撃のあるところでは、一般器具による電球の使用はしないでください。落下の原因となることがあります。

⚠ 酸などの腐食性雰囲気のところでは、一般器具による電球の使用はしないでください。漏電や落下の原因となることがあります。

⚠ 粉塵の多いところでは、一般器具による電球の使用はしないでください。
器具の過熱の原因となることがあります。

⚠ 落下したり、物をぶつけたり、無理なカを加えたり、キズをつけたりしないでください。(特に器具の清掃のときは、ご注意ください。)
破損した場合、ケガの原因となることがあります。

⚠ 使用済みの電球は割らずに破棄してください。電球を割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。

⚠ 湿度・湿気の高いところで使用しないでください。
破損の原因となることがあります。

⚠ 塗料などを塗らないでください。電球が過熱し破損の原因となることがあります。

⚠ 引火する危険性の雰囲気（ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉塵等）で使用しないでください。
火災や爆発の原因となることがあります。

❗ 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検してください。
不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店、電気店に修理を依頼してください。

取付上の注意

次のことに注意して取付けてください。

① この器具は、センサー付の照明器具です。センサーは温度変化を検知しますので次のような場所には取り付けないでください。
誤作動の原因となります。
(1) カーテンなど、ゆれるものが近くにある場所
(2) 取り付けの高さが３m以上になる場所
(3) 温度変化のはげしい場所
(4) 反射の強い床面・壁面が近くにある場所

② 壁付調光器のある回路では使用しないでください。

⚠注意 本器具を取り付ける電源回路（壁スイッチ等）に調光器が接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。
右図のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。
(調光器の交換工事は電気工事店に依頼してください。)

《調光器付壁スイッチ代表例》

NECライティング株式会社
東京都港区芝1-7-17
〒105-0014　http://www.nelt.co.jp/

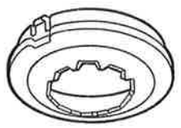
＜お客様相談室＞
フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間　平日9:00～12:00　13:00～18:00
(土、日、祭日は受け付けておりません)
FAX. 03-6746-1521

※この紙は再生紙を使用しています

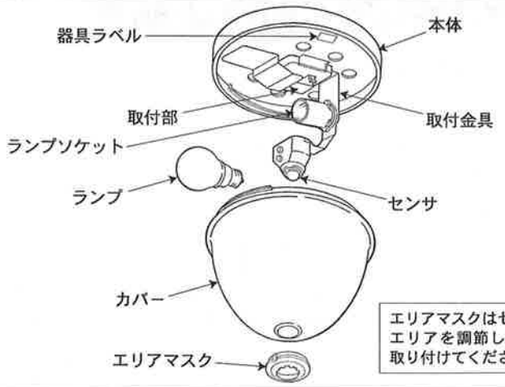
各部の名称

この図は一部省略抽象化した共通部品図です。
機種によってカバー形状が異なる機種もあります。

【付属品】



エリアマスク　1個



エリアマスクはセンサー感知エリアを調節したいときに取り付けてください。

点灯照度と点灯時間を設定する

点灯照度ツマミにより、センサーが動作を開始する時の周囲の明るさ(照度)を設定してください。

工場出荷時は「暗め」に設定されています

点灯照度ツマミを暗め約５Lx～明るめ約50Lxの間で設定することによりセンサーが動作を開始する時の周囲の明るさ(照度)を設定できます。

●センサー感知エリアを確認する時

点灯照度ツマミを「切」に合わせてください。

周囲の明るさ(照度)に関係なく、次のような動作となります。

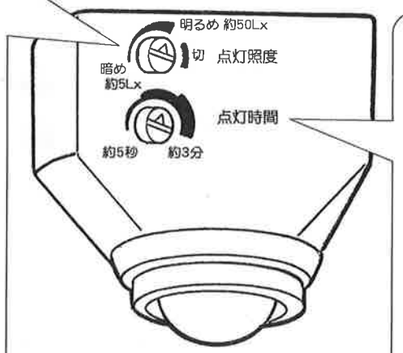
電源投入時…約100%点灯
⬇ 約30秒
消灯（待機状態）
⬇ 人が近づくと
周囲の明るさにかかわず約100%点灯
⬇ 約５秒
消灯（待機状態）

※確認が終了したら、ツマミを暗め約５Lx～明るめ約50Lxの間で設定してください。

「切」の状態でそのまま使用されますと、ランプの点滅回数が多くなり、ランプの寿命が短くなる場合があります。

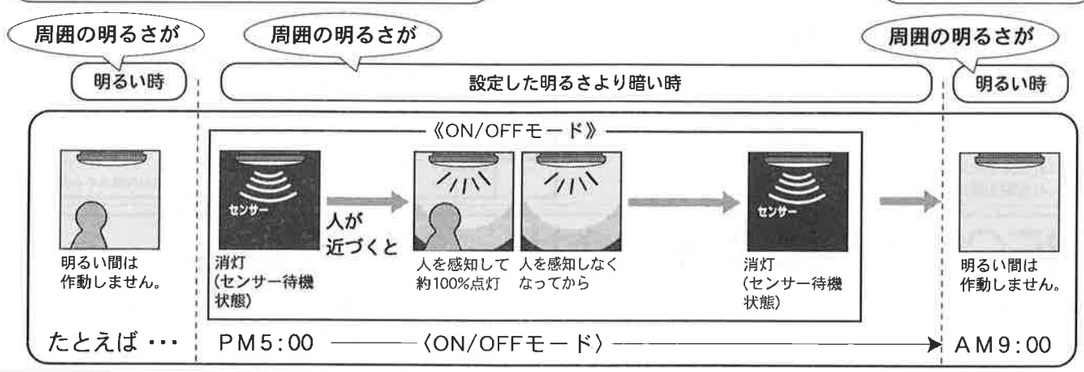
点灯時間ツマミにより、点灯時間を設定してください。

工場出荷時は「約５秒」に設定されています



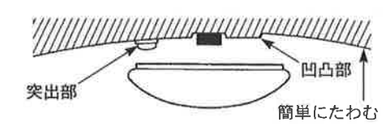
約５秒～約３分の間で設定をすることができます。

目盛りの表示時間は目安ですので、多少点灯時間にはばらつきがあります。



取り付けできない天井

火災・感電・落下によるけがの原因となります。



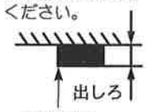
突出部のある天井・凹凸のある天井・簡単にたわむ弱い天井

変形天井・ななめ天井　　サオブチ天井 格子天井

下図の場合は、電気工事店か販売店にご相談ください。

配線だけのもの　破損しているもの　電源端子露出タイプ　ガタつくもの　ケースウェイに取り付いている

次の配線器具は、出しろを確認してください。



角型、丸型引掛シーリング21㎜以下は取り付けできません。

埋込ローゼット10㎜以下は取り付けできません。

電気工事は電気工事士の資格が必要です。
工事は必ず電気工事店に依頼してください。

引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取り付けないでください。
器具が落下する恐れがあります。

器具の取付方法　取付工事の際は感電等事故防止のため、必ず電源を切ってください。

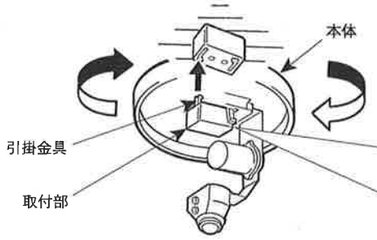
1. 天井の確認

天井に取り付けられている引掛シーリングが右図の場合は、引掛シーリング固定強度の確認をしてください。

※印の引掛シーリングの天井に取り付ける際は、天井面と本体の間に10～15㎜のすきまができます。

2. 本体の取付

本体取付部の引掛金具を引掛シーリングまたは、埋込ローゼットの取付穴に確実に挿入するために本体を強く押し上げ矢印方向にまわしてください。



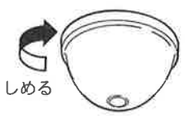
本体取付部のレバーが、下図〔O〕のようになっており、本体が確実に取り付いていることを確認してください。

完全な取付状態ですと、レバー先端と取付部の下面とのすきまが約６㎜できます。
不完全な場合、器具の落下のおそれがあります。

⚠警告　落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. カバーの取付

右図のようにカバーを矢印の方向にいっぱいまで（本体側にあたるまで）回して取付けてください。
カバーが確実に取り付いていることを確認してください。
カバー取付けが不十分ですと、落下の原因となります。



※点灯時に取付金具の影が出ます。影が気になる場合は、引掛シーリングへの取付け方向で、影が見えないように調整してください。（引掛シーリング自体の取付け方向により、調整できない場合があります。）

器具の外しかた　必ず電源を切って本体やランプが冷えてから行ってください。

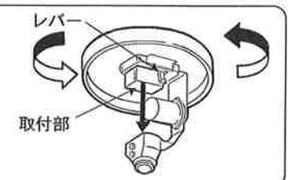
■カバーの外しかた

右図のようにカバーを矢印方向に回して、外してください。

■本体の外しかた

取付部のレバーを引きながら本体を矢印方向に回してください。

※レバーを引かずにまわすと引掛シーリングが破損します。



使用上のご注意

●お手入れのとき及びランプ交換のときは、危険ですので必ず電源を切って本体やランプが冷えてから行ってください。
必ず電源を切り、ランプが冷えてから取り替えてください。
●ぬれた布でランプをふきますと危険ですので、絶対にやめてください。
●ストーブの上など特に高温になる場所の使用はさけてください。